

さあ、食べ残しゼロのまちへ・・・

料理との

一期一会 (15・18) 運動

日本では、食べられるのに廃棄される“可食”廃棄物が年間約632万トン排出されています。国連世界食糧計画による全世界で実施された食糧支援量が約320万トンですから、日本だけで約2年分が賅えることとなります。(農林水産省及び環境省「平成25年度推計」)

また、食堂やレストラン、宴会等での食べ残しが単に“もったいない”だけでなく、これらの廃棄物を処理するため無駄に化石燃料を消費していることとなります。

食品ロスの削減に向けて、全国的に取り組み機運が高まりつつある中、本市においても家庭や事業所においてすぐにできる身近な取り組みの一つとして本運動を推進します。

実践方法

宴会開始後の15分間(いちご)と終了前の18分間(いちえ ※15~20分を目安)は、出された料理を自席でしっかり食べる「料理との“一期一会”タイム」であることを宴会開始時に幹事さんが宣言していただき、出席者の皆さんに実践していただくという簡単なルールです。「料理との“一期一会”タイム」以外の時間は、「ひととの“一期一会”タイム」であり、料理を食べながらご歓談ください。

宴会時のお約束



- ・「料理との一期一会 (15・18) 運動」を必ず実践！
- ・幹事さんは、出席者の性別、年齢層等をお店に伝え、適量注文を！
- ・宴会中での飲み物追加も“適当”、“惰性”で注文は禁物！
- ・お腹いっぱいと思ったら、もっと食べたい人へ料理を無駄なくシェア！
- ・宴会中も幹事さんや司会者は、「食べ残しはダメよ♪」のアナウンスを！



宴会以外の食事でも・・・

「料理との一期一会 (15・18) 運動」は、宴会に限定した運動ではありません。

本運動は“食べ残しゼロ”に向けた取り組みであり、各々が自分たちの食生活を顧みて、我が国における食品ロス問題の深刻さを認識していただいたうえで、家庭で、職場で、お店で、食べ残しゼロの実践をお願いします。